

IBM SPSS 統計
バージョン 31

macOS 用インストール手順 (コンカレン
ト・ライセンス)



目次

第 1 章インストールの説明.....	1
システム要件.....	1
インストール.....	1
複数バージョンの実行および前のリリースからのアップグレード.....	1
ダウンロードされたファイルからのインストール.....	1
ISO ファイル からのインストール.....	1
製品のライセンス取得.....	1
ライセンス認証ウィザードの使用.....	1
コンピューター・ライセンスのチェックアウト/チェックイン.....	2
フィックスパックの適用.....	3
アンインストール.....	3

第 1 章 インストールの説明

以下に、ライセンス・タイプ IBM® SPSS® 統計 を使用して 31 バージョン 並行ライセンス をインストールする方法を説明します。この文書は、デスクトップ・コンピューターにインストールするユーザーを対象としています。

システム要件

IBM SPSS 統計 のシステム要件を確認するには、<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity/softwareReqsForProduct.html> にアクセスしてください。

インストール

複数バージョンの実行および前のリリースからのアップグレード

新しいバージョンの IBM SPSS 統計 をインストールする前に、その古いバージョンをアンインストールする必要はありません。

ダウンロードされたファイルからのインストール

管理者としてログインする。macOS の.pkg ファイルを開き、画面に表示される指示に従って IBM をインストールする。SPSS Statistics

ISO ファイル からのインストール

1. 管理者としてログインする。
2. ダウンロードした ISO ファイル をマウントする。
3. 新しくマウントされた SPSSStatistics/MacOS の場所をブラウズする
4. の .pkg インストーラーファイルを開きます。スボスの統計を開き、画面に表示される指示に従ってください。

製品のライセンス取得

製品のインストール後、IBMid (**IBMid でログイン(Login with IBMid)**) を使用するか、ライセンス認証ウィザード (**ライセンス ウィザードの起動 (Launch License Wizard)**) 経由で認証コードを使用して製品をアクティブにできます。製品への使用をライセンス交付を適切に実行するには、「**ライセンス ウィザードの起動 (Launch License Wizard)**」オプションを選択する必要があります。**Login with IBMid** オプションは IBM SPSS 統計デジタル 用で、他のライセンスバージョンとは異なる方法でアクティベートされます。サブスクリプション・バージョンとライセンス交付を受けたバージョンの差異について、詳しくは「[お客様に適した IBM SPSS Statistics バージョンをご提案します](#)」を参照してください。

ライセンス認証ウィザードの使用

1. ライセンス認証ウィザードは、製品のインストール後に即時起動します。製品のインストール後にウィザードを実行する必要がある場合は、IBM SPSS 統計 製品メニューから **FileManage > License** をクリックします。
2. 「**同時ユーザー ライセンス**」を選択します。プロンプトが出されたら、ライセンス・マネージャーのサーバー名または IP アドレスを入力します。これは、ネットワーク・ライセンス・マネージャーを実行しているサーバーの IP アドレスまたは名前です。複数の住所や名前がある場合は、チルダで区切ってください（例：server1~server2~server3）。この情報がない場合は、管理者にお問い合わせください。

注: ご使用の環境に応じて、TCP ポート 7 が開いていることを確認しなければならない場合があります。ライセンス認証ウィザードでは、ポート 7 でライセンス・マネージャー・サーバーに一度接続して、それが存在することを確認する必要があります。

コンピューター・ライセンスのチェックアウト/チェックイン

ネットワーク・ライセンスでは通常、IBM SPSS 統計 を実行するためにネットワークに接続していることが必要です。管理者がコンピューター・ライセンスを使用可能にしている場合は、ネットワークに接続していないときにコンピューター・ライセンスをチェックアウトして、ネットワーク・ライセンスを使用できます。例えば、ネットワーク接続がない場合には、電車で SPSSStatistics を実行することができます。ネットワークを切断して電車に乗る前に、一定時間を限度としてコンピューター・ライセンスをチェックアウトできました。この有効期限が切れる前に、ネットワークに再接続し、ライセンスをチェックインして戻す必要があります。それ以外の場合、SPSSStatistics は作業を停止します。

ネットワーク・ライセンスを使用可能にし、構成するのは管理者です。この機能を使用する必要があるが使用できない場合、管理者に問い合わせてください。

重要: ネットワークに再接続されているために SPSSStatistics を実行できる場合でも、必ずライセンスをチェックインしてください。これにより、他のユーザーがコンピューター・ライセンスを利用できるようになります。

ライセンスのチェックアウト

1. SPSSStatistics を開いて「ファイル」>>「ライセンスの管理」を選択します。「ライセンスの管理」ダイアログが表示され、オプション **ライセンスの起動ウィザード**、**Commuter ユーティリティー・ツールの起動**、および **ライセンスの切り替えと再起動**が表示されます。
2. **Commuter ユーティリティー・ツールの起動** をクリックします。
3. チェックアウトするライセンスを選択します。
4. 「**持続**」フィールドに、ライセンスのチェックアウトに使用する日数を入力します。管理者が構成する限度があります。
5. **チェックアウト** をクリックし、**[終了]** をクリックします。

コンピューター・ライセンスは、「**期間**」に指定した日数後、有効期限が切れます。手動でいつでもライセンスをチェックインして戻すこともできます。

次の形式のメッセージが表示される場合があります。

```
Error while checkout with error code: <code>
```

一般的なコードは次のとおりです。

コード	意味
77	すべての使用可能なライセンスがチェックアウトされています。
1402	別のユーザー用に予約されているライセンスをチェックアウトしようとした。

ライセンスのチェックイン

1. SPSSStatistics を開いて「ファイル」>>「ライセンスの管理」を選択します。「ライセンスの管理」ダイアログが表示され、オプション **ライセンスの起動ウィザード**、**Commuter ユーティリティー・ツールの起動**、および **ライセンスの切り替えと再起動**が表示されます。
2. **Commuter ユーティリティー・ツールの起動** をクリックします。
3. チェックインするライセンスを選択します。自分がチェックアウトしたライセンスには、チェック・マークが付けられています。
4. **チェックイン** をクリックし、**[終了]** をクリックします。

フィックスパックの適用

操作で問題が発生しないようにするため、ご使用の製品を常に最新のフィックスパック・レベルにしておいてください。フィックスパックの説明に従い、必要なインストール前のタスクとインストール後のタスクをすべて実行してください。

アンインストール

1. インストールフォルダをごみ箱にドラッグします。デフォルトでは、これは */Applications/IBM SPSS Statistics 31* です。
2. ホーム・フォルダーで、ライブラリー/設定をご覧ください。
3. *com.ibm.spss.plist* をごみ箱にドラッグします。このファイルは、IBM SPSS 統計、IBM SPSS 統計 Student 版、および IBM SPSS スマートリーダーのためのものです。これらのアプリケーションのうち、今もなおインストールされているものがある場合は、このファイルを削除しないでください。
4. ホームフォルダで、*~/Library/Application Support/IBM/SPSS Statistics/31/Eclipse/* をごみ箱にドラッグします。
5. 必要に応じて、*<install directory>/Resources/Extensions/CustomDialogs* から「ごみ箱」にドラッグすることにより、インストールしたカスタムダイアログを削除します。
6. 必要に応じて、*<install directory>/Resources/Extensions/extensions* から「ごみ箱」にドラッグすることにより、インストールした拡張コマンドをすべて削除します。
7. ごみ箱を空にします。

